



本校小学部の「遊びの指導」について②

- 「設定遊び」について -



・前回の遊び場ニュース（裏面）では、「遊び場での子どもたちの学び」について取り上げました。第2回となる今回は、「設定遊び」についてご説明いたします。

「設定遊び」と「自由遊び」

遊びの時間中、音楽が切り変わって、「博士」の格好をした大人（と時々一緒にやりたい子ども）が「今日はみんなで〇〇遊びをしよう〜！」と言いながらみんなを集めて、集団で遊びを始めることがあります。本校では、このような大人が主導してみんなで一緒に行う遊びを「設定遊び」、それ以外の子どもが各々自分の好きな遊びをすることを「自由遊び」と呼んでいます。設定遊びには、以下のような2つの種類があります。

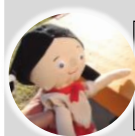
主な1日の
遊びの流れ
(R4年度)

設定遊び①

自由遊び

設定遊び②

自由遊び



人形の「まみちゃん」と
遊び博士が遊びを紹介♪



授業前のビデオ視聴 @プレイルーム



ビデオで見た遊びを
遊び博士と一緒に、
みんなでいきます☆

ビデオで見たことを
楽しみにしている
子がたくさん♪
子どもたちの面白い
遊び、かっこいい姿
を紹介する場にも
なっています♡

授業中にスポット的に集まって行う遊び @体育館/グラウンド

「設定遊び」の意義

①遊びのお手本

授業の前にビデオを見たり、博士が出てきたり、みんなで一緒に行ったりすることで、子どもの「やってみよう！」という思いを引き出しつつ、「こういうふうに遊んでほしい」という意図を盛り込んだり、遊びのヒントを伝えたりできる。

こんなものもあるよ〜
どれつかってみよう？



混ぜたら
楽しいかも！

やってみたら
意外と
好きかも♡

②子どもの「チャレンジ」を後押し

みんなで集まって行う設定遊びでは、「ちょっと難しくても、みんなの応援があればできるかも...」という子どもの背中を後押しにもなる。「すごいでしょ！」という達成感いっぱい表情を見ることが出来ます♪



みんなが行くなら
ぼくも一緒に
いこうかな！